

令和5年度 幌加内町決算審査特別委員会 第1日目

令和5年10月19日（木曜日）

○出席委員（6名）

委員長 3番 小 関 和 明 君
1番 中 南 裕 行 君
4番 中 村 雅 義 君

5番 中 川 秀 雄 君
8番 蔵 前 文 彦 君（副委員長）
議長 小 川 雅 昭 君

○欠席委員（2名）

2番 寺 崎 嘉 男 君

6番 稲 見 隆 浩 君（副委員長）

○出席説明員

町 長
副 町 長
教 育 長
総 務 課 長
産 業 課 長
建 設 課 長
住 民 課 長
保 健 福 祉 課 長
地 域 振 興 室 長

細 川 雅 弘 君
大 野 克 彦 君
村 上 雅 之 君
中 河 滋 登 君
清 原 吉 典 君
宮 田 直 樹 君
山 本 久 稔 君
加 藤 誠 一 君
新 江 和 夫 君

○出席事務局職員

事 務 局 長
書 記

蔵 前 裕 幸 君

開 会 午前9時00分

○事務局長（藏前裕幸君） ただいまより決算審査特別委員会を始めさせていただきます。

開会にあたりまして、小関委員長よりご挨拶を申し上げます。

◎委員長あいさつ

○委員長（小関和明君） 一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、時節柄何かとお忙しい中、委員をはじめ、町長並びに関係職員の皆様にご出席を賜り厚くお礼申し上げます。さて、先般の9月定例会において、決算審査特別委員会が設置され、その委員長を努めさせていただく事となりました。委員の皆様には円滑な審査にご協力くださいますようお願い申し上げます。また、決算審査にあたりましては、予算執行が適正に行われ、それにより行政効果が発揮できたかどうか、議会における予算審議等の趣旨が十分に生かされたていたかなど、納税者の立場にたった確認をしなければならない重大な責任があります。限られた日程の中ではありますが、十分慎重審議がなされますよう、委員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。簡単ではありますが、開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。

○事務局長（藏前裕幸君） 次に、町長よりご挨拶をお願いいたします。

◎町長あいさつ

○町長（細川雅弘君）

今日から、議会の令和4年度の決算審査特別委員会ということで開催されます。どうぞよろしくお願い申し上げます。先般の議会で概要を説明しておりましたとおり、令和4年度につきましては、当初4億円ほどの財源不足と基金繰入を予定しておりましたが、おかげさまで交付税の堅調な推移、あるいは国の特別交付金こういったものが規定の事業にも充当できたそういった要素がありまして、逆に基金を1億円ほど積み増してきたということで大変安堵をしているところであります。昨年は1億円を超えるような事業、土木事業等を除いてあとは無かったということでありまして、令和4年度は本町の経常経費、収入支出を俯瞰するのに大変参考になる年だと思っておりました。そういった中で決算がプラスマイナス、プラスの方であったということでこれも安堵をしているところでございます。しかしながら、綱渡り状態というのはこれからも続くと思います。交付税に左右されることはもちろん、人口減少により交付税の減少、あるいは税収の減少、そして最近の物価高ということで経常経費がこれまで以上に上がっていくかと思えます。とにかくなかなか財政状況にはプラス要素がないというような状況であります。令和5年度も当初予算では基金を相当額崩す予定をしております。私どもを含め、職員一同、期首財源の確保に努めて参りたいと思いますし、令和6年度におきましては、10年間かけて、ようやく完成いたしました国営かんばい事業の一括償還これが当初予算に編成される予定でございます。そういった意味も込

めて、今後とも厳しい財政状況であります。本町が持続可能な町でいつづけられる、これは健全な財政運営があつてのことだろうと思います。そういったことを頭に置きながら、行政運営を進めて参りたいと思います。議員各位におかれましては、様々なご意見を賜りまして一緒になって行政運営を進めて参りたいと思っております。今日からの決算審査委員会よろしくお願い申し上げましてご挨拶にかえさせていただきます。

○事務局長（藏前裕幸君） ありがとうございます。引き続き委員長の進行で委員会を進めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

◎開会の宣告

○委員長（小関和明君） ただいまの出席委員数は5名であります。

定足数に達していますので、令和4年度幌加内町各会計歳入歳出決算に係わる決算審査特別委員会を開会いたします。

◎開議の宣言

○委員長（小関和明君） これから本日の委員会を開きます。

◎日程の決定

○委員長（小関和明君） 委員会の日程についてお諮りします。

日程は、本日から10月25日までの7日間にしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（小関和明君） 異議なしと認めます。

したがって特別委員会の日程は、本日から10月25日までの7日間に決定しました。

◎決算審査要領の説明

○委員長（小関和明君） 決算審査の要領について、事務局より説明させます。

○事務局長（藏前裕幸君） （別添、審査要領により事務局長説明、記載省略）

○委員長（小関和明君） 以上の要領により実施することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（小関和明君） 異議なしと認めます。

したがって、この要領に基づき実施いたします。

◎延会の議決

○委員長（小関和明君） お諮りします。

本日の審査をこの程度にとどめ、延会したいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（小関和明君） 異議なしと認めます。

したがって、本日はこれで延会することに決定しました。

これで本日の審査を閉じます。

閉 会 午前9時16分